

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	コンサートプロダクト2
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート照明コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位			授業形態	実習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	鈴木 まい		実務経験の有無・職種	有・コンサート照明	
学習目的					
コンサートやイベント、ライブハウスなどの照明スタッフを目指す。 ライティングデザインをはじめ、照明スタッフとして必要になる基本的なスキルを身につける。機材の名称や特性を理解し、使用することで効果的な演出が可能になる。仕込み、バラシ、ピンスポットに関しては繰り返し練習を行うことで、理解するだけでなく、スムーズに行うことができる力を身につける。また挨拶や礼儀、時間管理は日頃から厳しく指導し、しっかりと身につけていく。					
到達目標					
照明スタッフとして必要になる基本的知識を理解し、ライティングデザインに活用できるようになる。 仕込やバラシの練習を重ねることで、仕込み図から読み取れる内容を考え、使用目的を理解できるようになる。そしてスムーズに動けるようになる。 また、必要な機材数を算出し、機材準備ができるようになる。ピンスポットにおいてはスムーズに動かすことができ、場面ごとの色味に合わせてフィルターの入れ替えが出来るようになる。 技術習得と同時に挨拶や礼儀、時間の管理、メモの取り方、連絡・相談・報告などスタッフとして必要な力を理解できる。					
教育方法等					
授業概要	基礎実習を通し、スタッフとしての基本的知識を身につける。講義型とグループワーク型の授業を採り入れる。 機材の名称や特性、使い方については講義型で学び、明かりの概念や実際の機材を仕込む練習、ピンスポットの練習などはグループワークを採り入れる。小テストを行うことで理解度を確認しながら進めていく。 またアクティブラーニングの要素も取り入れ、知識を得るだけでなく、なぜ必要なかを考える力を養うことを目指す。				
	安全第一で授業は行う。重量物や昇降物がある為、声を出すことが非常に大切になる。照明スタッフは高所に上がることもあり。 理由のない遅刻や欠席は認めない。挨拶をしっかりと行うことが大切。 グレード試験や小テストを行い理解度を確認する。 携帯電話は使用禁止。教室内は機材がある為、飲食は禁止とする。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	シュート練習		サオの使い方や、照明機材にひっかける場所を理解する		
2回	照明操作卓Avolitesの使い方① (一般照明のパッチ・作成・修正・削除方法)		一般照明を1台パッチできるようにし、1つシーンを組めるようになる		
3回	LED機材について/アドレス設定について		LED機材の特性を理解し、電源をとり、アドレスを設定、信号線が繋がれるようになる		
4回	照明操作卓Avolitesの使い方② (LEDのパッチ・パレットの作成)		LED機材を照明操作卓に繋げ、1台パッチしカラーパレットを作れるようになる		
5回	シミュレーションソフトの作り方について		シンボルを図面と同じ位置に落とし込み、人や壁などのオブジェクトが入れられる		
6回	シミュレーションソフトの繋げ方について		照明の操作卓とシミュレーションソフトを繋げることができ、連動の確認作業ができる		
7回	照明操作卓Avolitesの使い方③ (チェイス、エフェクトなど応用)		カラーチェイスとディマーチェイスが出来るようになる		
8回	ムービングライトについて		ムービングライトの特性を理解し、仕込み方やバラシ方、アドレスの設定方法を理解する		
9回	照明操作卓GrandMA2の使い方① (パッチ、パレットの作り方)		ムービングライト4台をパッチし、カラーとポジションのパレットを作れるようになる		
10回	照明操作卓GrandMA2の使い方② (Qリストの概念と作り方、エフェクト)		Qリストを理解し3つシーンを組めるようになる。エフェクトのスピードを調整できるようになる		
11回	修了ライブ実習① 仕込練習・データーのプログラム		時間内に仕込みを完了させる。曲を聞き込み、明かり合わせまでにデーターのプログラムを終わらせる		
12回	修了ライブ実習② 明かり合わせ		実際に明かりを見ながら修正作業をすることができる。ピンスポットの色味を調整できる		
13回	修了ライブ実習③ 各コースとのテクニカル調整、リハーサル		本番同様に丁寧にオペレートすることができる。修正作業に対応することができる		
14回	修了ライブ実習④ 本番		ライブ感を大切に、丁寧に、そして臨機応変にオペレートすることができるようになる		
15回	修了ライブ実習⑤ 反省会		失敗点と成功した点を振り返り、次回の目標と具体的行動を決める		